ISS・きぼうウィークリーニュース

平成18年10月31日発行　第221号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆最初のISS構成要素打上げから2902日経過しました
☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は41日経過しました
☆ISS動向

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン、トーマス・ライター宇宙飛行士は、プログレス補給船（23P）の到着に向けた準備やメンテナンス作業、科学実験を行いました。

10月23日に打ち上げられたプログレス補給船（23P）は、10月26日午後11時29分に国際宇宙ステーション（ISS）にドッキングしました。プログレス補給船（23P）には補給用推進剤や酸素、食糧のほか、エレクトロン（酸素発生装置）の修理用部品が搭載されています。今週、届いたばかりの修理用部品を用いてチューリン宇宙飛行士がエレクトロンの修理作業を行う予定です。

その他、ライター宇宙飛行士は欧州宇宙機関（ESA）の植物培養実験を引き続き行い、ロペズ－アレグリア宇宙飛行士は睡眠実験のための記録をとりました。

また、ISSの音声とコマンドの送信に使用されているSバンド通信システムの冗長チャンネルの片方にドロップアウト（通信の抜け落ち）が発生したため、地上の技術者たちは、Sバンド通信システムからのデータの確認を行っています。現在、通信には別系統のSバンド通信システムを用いており、ISSの運用には支障はありません。この問題に関して、飛行管制官たちは12月に予定されているスペースシャトル「ディスカバリー号」によるSTS-116ミッションでの手順の変更を行う必要があるかどうか確認中です 。

ISSに接近するプログレス補給船（23P）
（提供：NASA）

メンテナンス作業を行うロペズ-アレグリア宇宙飛行士 （提供：NASA）

“スペースシャトル・ディスカバリー号（STS-116）の状況”

NASAケネディ宇宙センター（KSC）のオービタ整備施設（Orbiter Processing Facility: OPF）では、STS-116ミッションで飛行するスペースシャトル・ディスカバリー号の準備作業が進められており、10月中旬にはSTS-116クルーによる整備状況の確認が行われました。ディスカバリー号は米国時間10月31日にスペースシャトル組立棟（Vehicle Assembly Building: VAB）へ移動する予定で、VAB内で外部燃料タンクとの結合作業が行われます。

ディスカバリー号の外観を確認するSTS-116クルー

ディスカバリー号のペイロードベイ（貨物室）を確認するSTS-116クルー
（写真は全てNASA提供）

“インフォメーション”

☆11月25日（土）「第11回タウンミーティング」in 磐田の開催について

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、「JAXAタウンミーティングin磐田実行委員会」と共催で、JAXAタウンミーティングを平成18年11月25日（土）に静岡県磐田市で開催いたします。JAXAタウンミーティングは、広く市民と宇宙活動について語り合う意見交換の場で、2004年5月に始まり、これまで全国各地で10回行われました。今回は、JAXAの立川理事長と古川宇宙飛行士が登壇し、これから日本が宇宙分野で取り組んでいくべきことなどについて、みなさまのご意見をうかがいます。

- ●日 時：平成18年11月25日（土）13:30～16:00
- ●会 場：ヤマハコミュニケーションプラザ3階AVホール（静岡県磐田市）
- ●対 象：18歳以上（定員150名）
- ●参加費：無料
- ●参加方法や問合せ先、当日のプログラムなど詳細については下記ホームページをご覧ください。

http://www.jaxa.jp/press/2006/10/20061026_townmeeting_j.html

JAXA立川理事長

古川宇宙飛行士

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ　http://iss.sfo.jaxa.jp/　　Eメール kibo-pao@jaxa.jp
ウイークリーニュースメーリングサービス登録　http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。